

運賃のものさしプロジェクト | 第2回アンケート結果報告

— 物流現場における運賃の実態把握に向けて —

2025年5月24日 作成／#運賃のものさしプロジェクト事務局

1. 背景と目的

2024年問題をはじめとする物流業界の課題は「労働時間の制約」と「適正な運賃の確保」が表裏一体の関係にあります。

本プロジェクトでは、**運送会社経営者・配車担当者・ドライバーの現場の声を可視化し、業界全体で「適正な運賃」の基準となる“ものさし”を共通認識として持つこと**を目的に、アンケートを実施しました。

今回の目的は、前回のアンケートで浮かび上がった「運賃の基準が曖昧」という課題を踏まえ、その背景にある構造的な問題の中から帰り荷運賃や地域特性についてさらに掘り下げることにありました。しかし本音を言えば、運賃の基準が曖昧であるという課題解決ではなく「運賃が安い」状態がずっと続いていることへの危機感、そしてなぜ「運賃は安いままなのか」と自問した結果、運送業界の取引場において運賃の基準がそもそもなかったのではないか、と言う仮説を実証していきたいという想いがあります。

また、30年以上続いてきた「価格の過当競争」に終止符を打ち、同業他社との連携を強め、業界全体の運賃水準を底上げすることも目的の一つとしています。

今後も継続的なアンケート調査や聞き取り、発信を行ってまいります。

2. アンケート概要

- ・実施期間：2025年5月8日～20日
- ・回答者数：54
- ・主な対象：ドライバー、配車担当者、運送会社経営者・役員、荷主担当者
- ・回答形式：Googleフォーム（匿名）

下記回答結果となります。

まずは業界内の運賃基準指数についてグラフ化しています。

ご確認ください。

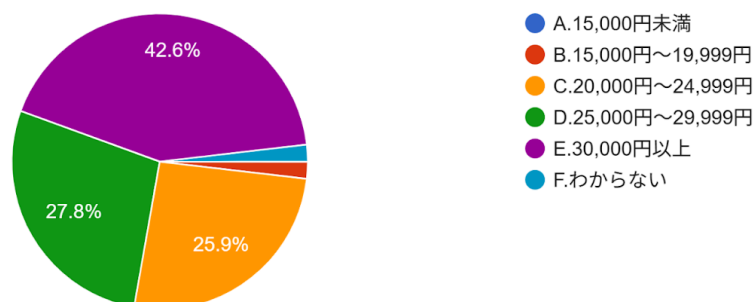
アンケート設問 1

4トンウイング車で「パレット積み雑貨（積み降ろし作業あり）」を運ぶ場合、片道100kmの走行で妥当と思う運賃はいくらですか？

【想定運行条件①】

- ・ 車種：4tウイング車
- ・ 距離：片道100km
- ・ 積込：パレット積み（積み下ろし荷役あり）
- ・ 荷物：雑貨

4トンウイング車で「パレット積み雑貨（積み降ろし...kmの走行で妥当と思う運賃はいくらですか？
54 件の回答



最多回答は30,000円以上（42.6%）でした。

【回答サマリ・特徴】

- ① 4tウイング車という高頻度使用のある車種運賃にもかかわらず、運賃基準にバラつきが多くみられる。最多回答の30,000円以上も全体の半数以下という結果。
- ② 25,000円～29,999円以下で27.8%、20,000円～24,999円で25.9%という回答が次いでいる。
- ③ 最安回答は15,000円～19,999円ゾーンで全体の1.9%となった。
- ④ 運賃にバラつきがあるため基準値（最低でも〇〇円、という運賃）設定が難しい。

3.帰り荷に関する意識調査

前回のアンケートで運賃に基準がない、運賃が上がらない要因として「帰り荷運賃」と「地域特性」が原因ではないか、という結論にいたりました。

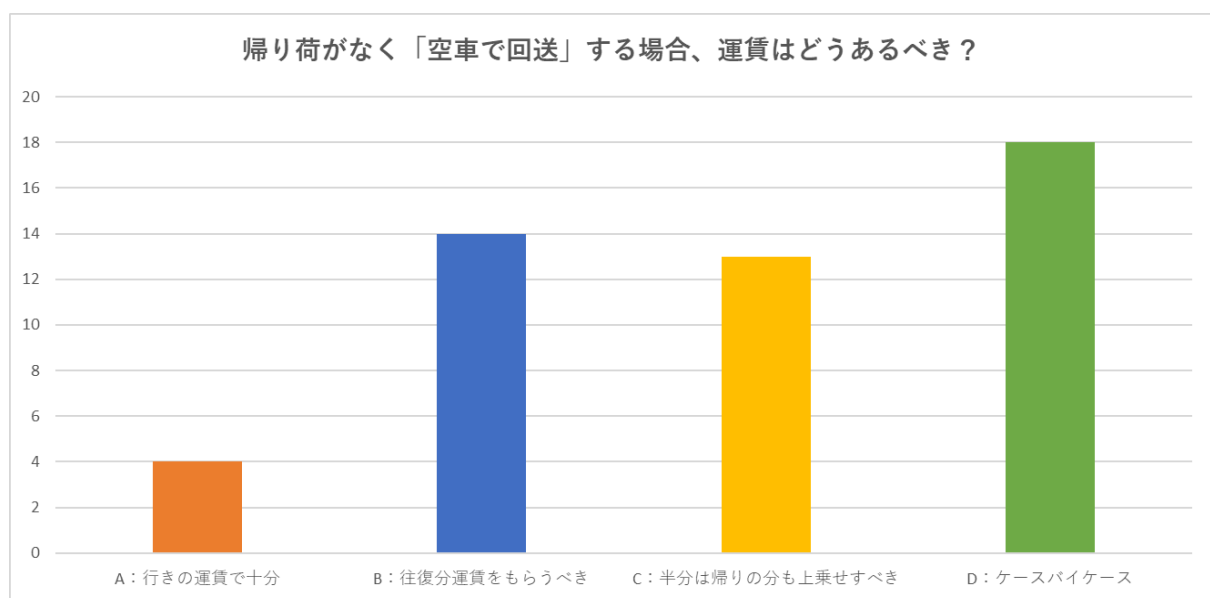
「帰り荷運賃」とは、トラックが荷物を届けた後、届けた地点の近くから元の場所（車庫や拠点となる営業所）に戻る際に運ぶ荷物の運賃のことです。往復運行のうち車庫へ戻る帰路も荷物を運べれば運送効率があがり、コストの削減やドライバーの負担軽減につながりますが、帰り荷は運賃が安く設定されることが多く、適正な価格での取引が課題となっています。

今回のアンケートでは帰り荷運賃および地域特性（地域差）についてもいくつか設問を作り、回答をしていただきました。

以下、回答結果です。

①片道で荷物を運んだあと、帰り荷がなく「空車で回送」する場合、運賃はどうあるべきだと思いますか？

（片道：200km、10トンウイング車）



こちらのレポートの全編PDF（全25ページ）をご希望の方は、下記フォームよりご登録をお願いいたします。

登録いただいたアドレス宛てにレポートをお送りいたします。